

案件概要表（草の根協力支援型）

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ラオス人民民主共和国
2. 案件名	デザインプロセスを活用した持続的な観光商品の開発及び質向上プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	ベトナム戦争時代に空爆を受けたシェンクアン県では、70%以上の住民が農業を営んでいるが不発弾汚染による農地不足から、彼らの平均年収は極めて低く、生活水準は最低レベルにある。また、一部の住民は農地を求めて、不発弾の撤去を待たずして農地開拓を行い、その際に事故に巻き込まれることが問題となっている。これらの問題に対し、現地政府は観光産業による GNP 向上を目指し、当該地域内の観光地の整備を推進してきた。以上を踏まえ、提案団体は 2018 年から 1 年間ムアン村とポンカム村にて養蜂の技術支援やハチミツの商品化に取り組み、住民の収入は増加したが、生活水準の改善までには至らず、住民や政府が自ら商品の質向上や生産体制の一元化までを包括的に行うための知見や技術が求められている。
4. プロジェクト目標	ポンカム村とムアン村において、住民が自ら伝統的な暮らしから観光資源を発掘し、観光客に向けた商品の開発と質の向上が行える。
5. 対象地域	シェンクアン県ペク郡 ムアン村およびポンカム村
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	ムアン村 (30 世帯、約 220 人)、ポンカム村の住民 (37 世帯、約 260 人)
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p>【住民が観光商品の質向上や生産体制の一元化を図る際に、デザインプロセスやデザイン思考の有用性を理解する】</p> <p>関係者で構築した WG が住民に対してデザインプロセスに関する勉強会を実施する。また、国内のコミュニティーツーリズム先進地への視察や観光客へのニーズヒアリングを通して、改善すべき観光商品や利用する地域資源の選定を行う。</p> <p>【観光商品の質向上から生産体制の一元化までを図るために、住民に適した独自の商品開発手法が構築される】</p> <p>WG と住民が、既存のハチミツ商品を元に改善案や試作品を製作するとともに、品質管理や生産体制の一元化に必要なチェックシートを導入する。さらに、一連の活動をまとめた商品開発マニュアルを作成する。</p> <p>【住民が自ら対象となる農産加工品や工芸品などの既存の観光商品の質を向上できる】</p> <p>作成したマニュアルを用いて、その他既存の観光商品（茶葉や手織物等）の質の向上を行いながら商品開発手法の修得を図る。</p>
8. 実施期間	2022 年 10 月～2025 年 4 月（2 年 7 ヶ月）
9. 事業費概算額	9,993 千円
10. 現地カウンターパート	シェンクアン県計画投資局
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	公立大学法人長岡造形大学
2. 活動内容	「造形を通して真の人的豊かさを探求し、これを社会に還元することのできる創造力を備えた人材を養成する」ことを理念とし、これを基軸とした教育研究活動の展開や地域・社会貢献に資する取り組みに従事する。